

(様式2-1) 社会資本総合整備計画 事後評価書(案)

1. 整備計画											
計画の名称	静岡県における地震・津波から命を守る海岸づくりの推進(防災・安全)緊急対策										
計画の期間	平成30年度 ~ 令和4年度				交付対象	静岡県、伊豆市					
計画の目標	東日本大震災による津波災害を踏まえ、今後発生が予想される東海地震及び東海・東南海・南海の3連動地震等から背後地で生活する県民の生命・財産を保護するため、海岸堤防の嵩上げ及び液状化対策、粘り強い構造への改良等を実施することにより、地震・津波に強い、安全・安心な県土づくりを推進する。										
計画の成果目標(定量的指標)	①レベル1津波による浸水面積の低減 ②レベル1津波による浸水面積の低減 ③海岸侵食に対して、背後地の防護に必要な浜幅が確保されている海岸線の延長を、H29末の6.9km(100%)をR4末まで確保する。【国土交通省水管理・国土保全局所管の海岸を対象】										
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値		備考
									当初現況値	中間目標値	
									(H29末)	(R末)	(R4末)
①	海岸堤防を嵩上げすることにより、レベル1津波による浸水面積を、181ha(H29末)から79ha(R4末)へ低減【国土交通省水管理・国土保全局所管の海岸を対象】								181ha		79ha
②	海岸堤防を耐震化することにより、レベル1津波による浸水面積を、86ha(H29末)から0ha(R4末)へ低減【国土交通省水管理・国土保全局所管の海岸を対象】								86ha		0ha
③	防護に必要な浜幅が確保されている海岸線の延長(km)								7km		7km
全体事業費	合計(A+B+C)	7,472百万円	A	7,470百万円	B		C	2百万円	効果促進事業費の割合	0%	
事業種別	主な交付対象事業	要素となる事業名(事業箇所)			事業内容(延長・面積等)			市町名	全体事業費(百万円)	備考	
海岸		相良海岸 高潮対策事業			堤防嵩上げ、液状化対策			牧之原市	3,062		
事業数		静岡海岸 高潮対策事業			防嵩上げ、液状化対策、観測施設の機能強			静岡市	2,526		
10		沼津牛臥海岸 高潮対策事業			堤防嵩上げ、液状化対策			沼津市	1,354		
2. 事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込 -:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等))(計画期間中に他の整備計画に移行したもので、●:本計画の期間中に完成 ▲:本計画の期間終了後に完成見込)											
計画の移行なし	○	3	△	7	—		備考	計画の移行あり	●	▲	
3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況											
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況											
<ul style="list-style-type: none"> 相良海岸や静岡海岸等の堤防嵩上工事を実施した結果、レベル1津波に対する安全度が向上した。 沼津牛臥海岸の耐震化(液状化対策)工事を実施した結果、地震後においても機能が確保され、津波等に対する安全度が向上した。 清水西海岸の養浜工事により、防護に必要な浜幅が確保され、背後地の住宅や交通網等の安全が確保された。 											
II 定量的指標の達成状況	指標①(レベル1津波による浸水面積の低減)	最終目標値	79ha	目標値と実績値に差が出た要因	目標値を達成した理由としては、交付金の重点配分対象となり、県の重要施策として津波対策に係る予算を優先的に要望した結果、必要な事業費が確保されたことが主な要因として推定される。						
		最終実績値	57ha								
	指標②(レベル1津波による浸水面積の低減)	最終目標値	0ha	目標値と実績値に差が出た要因							
		最終実績値	0ha								
	指標③(海岸侵食に対して、背後地の防護に必要な浜幅が確保されている海岸線の延長を、H29末の6.9km(100%)をR4末まで確保する【国土交	最終目標値	7km	目標値と実績値に差が出た要因							
		最終実績値	7km								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況											
4. 今後の方針等											
引き続き、交付金による各種事業の進捗を図り、地震・津波から命を守る海岸づくりを推進するものとする。											

(1) 事業の目的

東日本大震災による津波災害を踏まえ、今後発生が予想される東海地震及び東海・東南海・南海の3連動地震等から背後地で生活する県民の生命・財産を保護するため、海岸堤防の嵩上げ及び液状化対策、粘り強い構造への改良等を実施することにより、地震・津波に強い、安全・安心な県土づくりを推進する。

(2) 指標

- ①レベル1津波による浸水面積の低減
- ②レベル1津波による浸水面積の低減
- ③海岸侵食に対して、背後地の防護に必要な浜幅が確保されている海岸線の延長を、H29末の6.9km（100%）をR4末まで確保する。

指標の達成状況

①令和4年度末の最終実績値は57haであり、目標（79ha）を達成した。

計画の成果目標	定量的指標		
	H29末	R4末最終目標	R4末最終実績
レベル1津波による浸水面積の低減（海岸堤防嵩上げ）	181ha	79ha	57ha

②令和4年度末の最終実績値は0haであり、目標（0ha）を達成した。

計画の成果目標	定量的指標		
	H29末	R4末最終目標	R4末最終実績
レベル1津波による浸水面積の低減（海岸堤防耐震化）	86ha	0ha	0ha

③令和4年度末の最終実績値は7kmであり、目標（7km）を達成した。

計画の成果目標	定量的指標		
	H29末	R4末最終目標	R4末最終実績
背後地の防護に必要な浜幅が確保されている海岸線の延長	7km	7km	7km

(3) 指標に関連する実施事例

相良須々木海岸（牧之原市）（堤防嵩上工）



(4) 今後の方針と目標達成見込み

引き続き、後継の計画において各種事業の進捗を図り、地震・津波から命を守る海岸づくりを推進するものとする。

静岡県における地震・津波から命を守る海岸づくりの推進(防災・安全)緊急対策

